

CTG ぎ建交労

とちぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合
 栃木県本部 〒327-0315
 栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
 Tel 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
 www.kenkourou.or.jp/
 E-mail: dqj06744@nifty.com



参院選を 政治を 新米食える

消費税下げろ！

来月参議院選挙が予定されています。

いま、多くの組合員が物価高騰に苦しんでいます。今度の選挙は消費税減税・インボイス廃止を実現するチャンスです。

昨年の衆議院選挙では、自民党の裏金問題に対する国民の怒りにより、与党を過半数割れに追い込むことができました。

今度の参議院選挙でも与党過半数割れが実現すれば、減税への可能性が大きく開かれます。

組合員にとって切実な軽油など燃料価格の引き下げも、実現できるかどうか、今度の選挙にかかっています。

自民党の現金給付にだまされず、各党の政策を見極めて、怒りの一票を投じましょう！

「コメつくっても赤字だよ」 兼業農家組合員 齋川さん

「ダンブに乗ってるからなんとかやっていけるけど、コメだけじゃ大幅赤字だよ」

組合員 齋川利雄さんは代々佐野市内で稲作を続けています。

「この地域も昔はみんなコメ作ってたけど合わないからみんなやめて、林みたいになつて」

問題は投票率です。昨年の衆議院選挙は53%、有権者の半数近くが絶好の機会を逃しています。

自民党の現金給付にだまされず、各党の政策を見極めて、怒りの一票を投じましょう！

宇都宮市にある矢野タクシーで働く一部ドライバーが栃木県労連に加入、団体交渉などに建交労が支援に入っています。

6月3日、組合員に対する雇止め（解雇）問題で団交を開催、老舗タクシー会社のずさんな労務管理が明らかになってきました。

矢野タクシー 団交開催

宇都宮市にある矢野タクシーで働く一部ドライバーが栃木県労連に加入、団体交渉などに建交労が支援に入っています。

6月3日、組合員に対する雇止め（解雇）問題で団交を開催、老舗タクシー会社のずさんな労務管理が明らかになってきました。



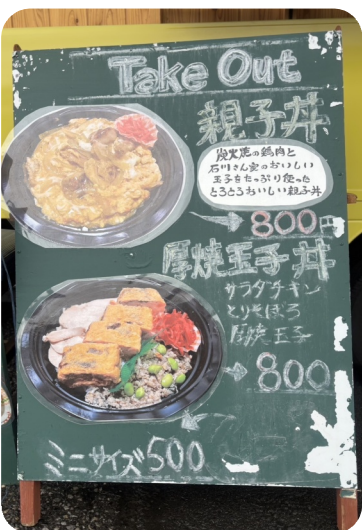
占いサイト詐欺 廃業被害発生

山本さん（仮名）はスマホで占いサイトから「金運が上がる」「宝くじに当たる」と勧誘され、コンビニで数十回にわたりビットコイン（電子マネー）を購入、その額なんと2百万円以上！

もちろん宝くじは当たらず廃業にまで追い込まれました。現在組合弁護士に相談中です。うまい話はありません！気を付けて！

クリちゃんキッチンカー

元組合研修職員栗ちゃんが佐野市内でキッチンカーを始めました。S井お姉さまの食レポ「味玉丼は濃すぎず薄すぎない味付け。とりごぼろの煮物、鶏肉も、いや買つて！」



佐野市高萩町交差点西側
生みたて玉子直場所敷地内



災害時ご住職は2階に避難するも土砂に埋まり亡くなってしまいました。依頼はご遺族から。

ご本尊様を捜せ・能登支援

6月7・8日、能登の阿弥陀如来像を救出する作業。小型重機2台と手作業でドロと格闘するも側面からの土砂で倒壊の危険があり途中で断念。無念。

ダンプのナンバー問題は政府の責任 白ナンバー排除・いまこそ抜本的改革を

背番号押しつけ
不安定な立場に

今月、改正貨物自動車運送事業法が成立し、「白ナンバー」を使用した荷主責任が明確になります。すでに一部では、白ダンプの排除の動きも。ダンプのナンバー問題は、政財界・建設業界のご都合主義によって生まれました。

昭和30年代後半から、トラック、ダンプの「白トラ行為」は社会問題として、たびたび国会で取り上げられていました。

「白トラ行為」は社会問題として、たびたび国会で取り上げられていました。象といたしましては、

昭和38年3月参議院運輸委員会「俗にいうやみトラック、いわゆる白ナンバーの営業車というのがある」

「俗にいうやみトラック、いわゆる白ナンバーの営業車というのがある」

じつは個人ダンプを想定

このような情勢のなかで、昭和41年に大事故が発生します。



ダンプ規制法の契機となった「猿投ダンプ事故」（昭和41年12月愛知県）横断中の保育園児ら11人が死亡。

愛知県で保育園児の列にダンプが突っ込み、園児ら十一人が死亡しました。

政府は急遽白ナンバーダンプ対策を迫られることになりました。

翌年7月、ダンプ規制法が成立します。

ダンプの9割を占める白ナンバーの多くを形式的な届け出により背番号を割り当て、合法的に働けるようにしました。

じつは政府は、この制度を暫定的なものとし、事故件数が落ち着

ければ、個人タクシーのように一定の基準を設けて運送免許を与える個人ダンプ制度を検討していました。

許可更新制度導入

元請→一次下請→二次下請……といった多重構造が広がっていました。その結果、運賃が中抜きされ、末端の実運送事業者が圧迫される構造が問題視されてきました。

「ただいま運輸大臣の、とりあえずこの新しい届け出制度に慣熟をして、逐次個人ダンプをはじめ免許制度に進んでいきたい、こういう意見の開陳がございましたから了承をいたします」

ところが、建設業界にとってダンプを都合よく酷使できる制度のため、政府はグレーゾンのまま放置します。

暫定措置が58年続いています。

安全基準や適正な運賃設定、ドライバーの待遇改善が求められ

「トラック新法」白排除情報・相談お寄せください

そしていま「トラック新法」の成立により、違法性のない車持ちダンプ労働者までもが「白ナンバー」を理由に働く権利を奪われるリスクにさらされるようになっています。

「白ナンバー」を理由に働く権利を奪われるリスクにさらされるようになっています。

「トラック新法」では、荷主の白トラ使用の禁止を明確に規定し

「トラック新法」のポイント

許可更新制度導入

多重下請け（再委託）禁止

適正運賃下限設定

白トラ禁止

荷主に勧告

無許可事業者（白トラ）に運送を委託しても、荷主側には明確な罰則はありませんでした。今後は、荷主が白トラと取引すること自体が禁止され、違反時は罰則対象となります。国交省は、違反荷主に對しては正命令・勧告・企業名公表が可能に。

